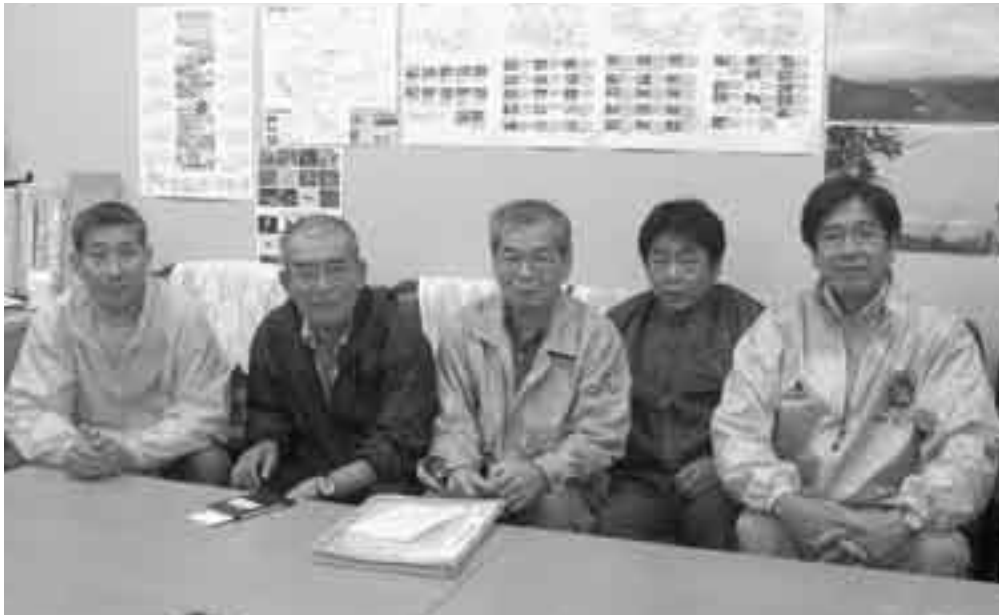


## 座談会

### 木工の楽しさを語る木礼会（もくれいかい）

町内の木工好きな人たちが集まり、今年6月に「四万十木礼（もくれい）会」（会長 湯浅文彦さん）が結成されました。メンバーは四万十町を木工の町として売り出し、地域活性化につなげたいと意欲を燃やしています。

お忙しい中、メンバー3名の方にお集まりいただき、下元昇商工会会長、森芳明商工観光課課長も参加してものづくりについて語っていただきました。



湯浅 結成後、「道の

駅」で初めて行った展示即売会に2日間で550人の方々が足を運んでいただきそれなりの成果をあげました。私たち自身も驚いています。が初めての展示即売会を終えて皆さんの感想と今後展示会でこのような事をやら面白といったことがあったらお聞かせください。

大川内 展示会を開いたことで、隣のおばさんも「もくれいかい、もくれいかい」といってくれます。午前中だけでも200人の人が足を運んでくれたことは、私は潜在的な手作りの木工ファンがいると思う。

森 チラシの効果もあつたのでしょうか。

湯浅 文章だけではなく、顔写真入りで、作品例なども入れていたのが良かったと思います。

#### 体験教室で子どもたちに手作りの楽しさを

矢島 最近の子どもは、ゲーム機で遊ぶことなどが優れているが、鉛筆を削ったりすることなどが苦手としていることが社会問題となっています。このあいの展示会でも子ども木工教室をやりましたが、

人数が少なく残念でした。今後我々がやる展示会などで子ども木工教室を開いて少しでもものづくりの面白

さなどを子どもたちに伝えることができたらいいなと思っています。

湯浅 矢島さんがやっていたいただいた子ども体験教室は小学生向けの紙芝居も面白可笑しくやつてもらい、参加者が少なかったのは残念でしたが、最後は一般の方も参加してもらい良かったと思います。子ども体験教室を年に何回かやったらいいですね。

大川内 作品を作る時、三角のものと丸のものとか端切れがたくさんできます。その端切れで展示会の中で子どもに自由に遊んでもらうなんてのもいいですね。

森 決められた形のものではなく、木で自由に形をつくることは、木の香り、肌ざわりなど自然に触れ合うことになり、情操教育にもなりますね。

矢島 子どもたちに安全に遊んでもらうためには面取りが大切です。私は自分の手作りで面取りをできる機械

をもっており、それを利用できると思います。

湯浅 たいもを洗うようなことですか。さすがは経験者ですね。展示会はこのグループが四万十町にできたというPRでしたが、なおいっそう町民の皆さまに知っていただくため木工教室を継続して開いていけば、お父さん、お母さんもついてくるわけで今後もやりましよう。

私たちの会の趣旨として公民館発想的な趣味ではなく、作品を買っていただくプロとしてやつていき、その結果地域の発展に貢献していくということがありますが、その為には技術の向上は欠かせません。どのような取り組みをしたらいいかお話しします。

下元 会員さんの中にはプロの方もおられます。プロからみた展示会の評価はありましたか。

大川内 会員同士であるから発言はありませ